



高田屋嘉兵衛 (1769~1827)

淡路島生まれの豪商。28歳のとき箱館に渡り、廻船業・漁場経営などの事業を手掛け、巨額の富を築く一方、外交問題に発展した「ゴロヴニン事件」の平和的解決や、私財を投じて地域貢献に尽力するなど、箱館繁栄に寄与した人物。

※ゴロヴニン事件：国後島において、松前藩がロシア軍艦ディアナ号艦長ゴロヴニン少佐以下8名を捕らえたが、その報復措置として嘉兵衛自身も一時ロシアに捕らえられ、自ら解決のため交渉にあたった事件。

1 地域交流まちづくりセンター



大正12年(1923)創建の丸井今井百貨店函館支店の建物を、外観を残しながら安全性のための改修を施して、再生したものだ。この新たなランドマークは市民活動の支援や、市民交流の場、地域情報の発信拠点となっている。

開館 9:00~21:00 休 年末年始

4 銀座通り (写真は昭和初期)



高田屋が活躍していた頃は、高田屋の屋敷から現在の赤レンガ倉庫群のあたりまで続く水路であり、数多くの船が行き交った。明治20年代初期に埋め立てられ、現在の姿となった。

※写真提供/函館市中央図書館

2 北方歴史資料館



函館発展の基礎を築きゴロヴニン事件の際、日本とロシアの間に立って平和のうちに事件を収め、北方領土の基礎を築いた豪商高田屋嘉兵衛の資料が充実している。

開館 10:00~17:00 入場料 大人300円 休 毎木曜・年末年始(平成25年4月1日~休館中)

3 箱館高田屋嘉兵衛資料館



高田屋嘉兵衛の生涯と足跡を今に伝える資料館(かつて昆布倉庫として使われていた建物に注目)。

開館 9:00~17:00 入場料 300円 休 毎木曜(祝日の場合は翌日)・年末年始・冬季休館あり

5 高田屋屋敷跡



高田屋の全盛は、嘉兵衛のあとを継いだ金兵衛(嘉兵衛の弟)が、幕府の許可を得てこの地域5万坪を拝借し、その一角に豪壮な邸宅を建てた頃である。その規模は敷地面積で2町(約220m)四方もあり、高価な石なども置かれていた。

6 高田屋嘉兵衛像



高田屋嘉兵衛の功績をたたえ、函館開港100年を記念して昭和33年(1958)に建立された銅像。この姿は、ロシア軍艦ディアナ号が捕らわれていたゴロヴニン船長を引き取るため、箱館に入港した際に立ち会った時をイメージして造られた。

北の豪商 高田屋嘉兵衛物語 ~箱館の繁栄の基礎を築いた高田屋嘉兵衛の足跡を辿る~

所要時間 60分 距離 1.5km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



スタート!
十字街電停
函館駅前から1.4km
市電/5分
徒歩/20分

1 地域交流まちづくりセンター
130m 3分

2 北方歴史資料館
240m 4分

3 箱館高田屋嘉兵衛資料館
380m 7分

4 銀座通り
440m 8分

5 高田屋屋敷跡
120m 2分

6 高田屋嘉兵衛像
180m 3分
ゴール!!

北海道第一歩の地碑
東浜棧橋(旧棧橋)

バイエリアの象徴的な存在で、三角屋根の赤レンガ倉庫が建ち並んでいます。現在はさまざまなお店がひしめくショッピングモールです。

明治44年に函館郵便局として建てられ、現在はショッピングモールになり手作り体験なども楽しめます。

海を見通す八幡坂はドラマや映画の舞台として有名な坂です。

日本最古のコンクリート電柱

冬期間は八幡坂とともに、ライトアップされ幻想的な美しさを演出します。

「チャチャ」とはアイヌ語で「おじいさん」を指し、おじいさんのように腰を曲げて歩くほど急な坂という意味でこの名前がついたそうです。

電車通り沿いや護国神社坂沿いには、古くから営業をしている老舗の飲食店や和菓子屋、オシャレなカフェが点在しています。

撮影オススメポイント!!

- 喫茶・休憩
- おみやげ売店
- 食事処
- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場
- 元町・バイエリア周遊号バス停